

令和5年度 岩沼市防災講演会

入場
無料

演題

「東日本大震災後の健康課題を解決し、 次の大規模災害へ十分に備えよう！」

東日本大震災の発生から12年が経過しました。
改めて、皆さん一人ひとりの災害に対する心構えを認識していただく機会として、
次のとおり防災講演会を開催します。

今後の防災・減災対策などについて考えることができる貴重な機会ですので、ぜひ
ご参加ください。

日時

令和6年
1月20日(土)

午前10時～(開場 9時30分)

会場

岩沼市民会館大ホール
(岩沼市里の杜1丁目2-45)



講師 / 東北大学災害科学国際研究所

くりやま しんいち

所長 栗山 進一 氏

プロフィール

- 1987年 東北大学理学部卒業
- 1993年 大阪市立大学医学部を卒業
同大学医学部附属病院医師、民間企業医師を経て、
- 2010年 東北大学大学院医学系研究科
環境遺伝医学総合研究センター分子疫学分野教授
- 2012年 東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野教授
- 2023年 東北大学災害科学国際研究所所長に就任



延長しました

12月26日(火) 令和6年1月12日(金) まで

申込
方法

①WEB応募はこちらから



②Eメール kiki@city.iwanuma.miyagi.jp

③電話 0223-23-0356(総務部危機管理課 直通)

④FAX 0223-24-0897

※②・④で申込の場合は、「件名」「氏名」「電話番号」「参加人数」(2人以上で申込む場合は、本人以外の参加者氏名)を明記のこと

東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）は

2011年東日本大震災を受け、2012年4月に設立された、東北大学で最も新しい附置研究所です。

被災者の方々の助けとなることを目指し、世界が必要とする災害科学の知の創造と蓄積に貢献します。得られた知見を迅速に発信し、ローカルかつグローバルに、防災を実践します。

ご講演の内容について教えてください。

「東日本大震災後の健康課題を解決」

大災害後にどのような健康被害が出現してくると思いますか？
私たちは大規模な健康調査を実施し、健康課題の抽出とともに必要な対策立案とその実践を行っています。役立つ事例をご紹介します！

「次の大規模災害へ十分に備えよう！」

私の専門の公衆衛生学では、特に生活習慣病の予防において成果を挙げてきました。そこで実感されたのは、いくら頭でわかっている、人はそう簡単には禁煙や減塩、バランスのいい食事をとるというようには行動を変えないということです。

防災においても同様で、防災に関する知識がある場合でも、それを実行している人は未だに限定的です。

私は公衆衛生学の手法を防災に応用し、次の災害への関心が低い方や分かってはいるが防災行動を実践できない方の意識をいかに変え、行動してもらえるか、言うなれば「防災コミュニケーション学」の確立を目指しています。

